

2014年1月29日(水)

協和エクシオ、千葉県南房総市のメガソーラー発電施設が完成 ～当社最大規模となる、出力約 2,400 キロワットの太陽光発電施設～

株式会社協和エクシオ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：小園文典）では、環境事業の一環として、太陽光発電システムの設計から施工、運用システムの構築に至るまでの設備設置工事、さらには再生可能エネルギーの固定価格買取制度による売電を実施する発電事業を展開しておりますが、このたび、当社の発電事業としては最大規模となる出力約 2,400kW のメガソーラー発電施設「協和エクシオ南房総ソーラーファーム」が完成し、1月28日、千葉県および南房総市、館山市の関係者をはじめとする来賓、当社代表取締役社長：小園文典をはじめとする当社関係者、工事関係者など約 40 名が出席し、現地で竣工式を執り行いました。

完成した「協和エクシオ南房総ソーラーファーム」では、千葉県南房総市と館山市にまたがる約 3 万 3,700 平方メートルの敷地内に、約 9,900 枚の太陽電池モジュールを設置し、出力約 2,400kW、年間発電量で一般家庭の約 770 世帯分の電力消費量に相当するメガソーラーによる発電を実施します。

当社は環境事業の一環として、メガソーラーをはじめとする太陽光発電設備の設計・施工を手掛けるとともに、発電事業にも注力しています。発電事業に関しては、2012年11月の当社「府中総合技術センター」（東京都府中市）での稼働開始から、現在はメガソーラー発電施設 2カ所を含む 4カ所で稼働しています。今回完成した「協和エクシオ南房総ソーラーファーム」は 5カ所目の発電施設で、出力規模についてはこれまでで最大のものとなります。

当社では、今後もメガソーラーをはじめとする発電事業を強化していくとともに、太陽光発電システムの設備設置工事に関しても、今回の施工実績を踏まえ、提案を強化していく方針です。

「協和エクシオ南房総ソーラーファーム」の施設概要は以下の通りです。

《「協和エクシオ南房総ソーラーファーム」施設概要》

施設名称：協和エクシオ南房総ソーラーファーム

所在地：千葉県南房総市加茂字実成谷 24 他

施設規模：・設置用地面積 33,657 m² (実測)

・太陽光発電設備

太陽光パネル出力 約 2,414 kW

太陽光パネル枚数 9,856 枚

年間発電量（見込み） 約 2,700,000 kWh/年

発電事業者：株式会社協和エクシオ

運用期間：自 2013年12月 ～ 至 2033年11月

工事期間：自 2013年7月 ～ 至 2013年12月

設計・施工：株式会社協和エクシオ

エクシオインフラ株式会社

投資金額：約 6.3 億円



写真は、「協和エクシオ南房総ソーラーファーム」



写真は、テープカットの様子
(左から3人目が、協和エクシオ代表取締役社長:小園文典)

本資料に関する報道機関からのお問い合わせ先
株式会社 協和エクシオ

〒150 - 0002 東京都渋谷区渋谷 3 - 29 - 20 総務部 CSR・広報室
電話 : 03 - 5778 - 1075 (直) FAX : 03-5778-1228
担当 : 高柳 圭伸